





審査結果報告書

2021年 2 月 2 日

主 査	氏 名	隈元 雄介	
副 査	氏 名	武田 啓	
副 査	氏 名	田邊 聡	
副 査	氏 名	中西 秀彦	

1. 申請者氏名 : DM17025 服部 響子

2. 論文テーマ :

Lymphangiogenesis induced by vascular endothelial growth factor receptor 1 signaling contributes to the progression of endometriosis in mice

(子宮内膜症における血管内皮増殖因子受容体 1 シグナルによるリンパ管新生の役割解明)

3. 論文審査結果 :

服部響子先生の学位論文は、子宮内膜症という日常診療で良く遭遇する疾患をテーマとし、手術療法やホルモン療法といった現状の治療方法とは全く異なる新たな治療法開発に繋がる基礎的研究を行い、原著として英語論文として発表を行っている。

その内容は、子宮内膜症の実験モデルとして確立されているマウス子宮移植片腹膜移植モデルを用いて、VEGFR1 のチロシンキナーゼ KO マウスと WILD タイプのマウスを様々な条件下に比較検討を加え、組織学的評価法、遺伝子発現の評価法などにより VEGFR1 シグナルの重要性を明らかとしたものである。複雑な病態解明のためきめ細やかな実験系の設定とその評価の解釈はよく整理されており、審査委員からの質問に対して的確に応答され、深い洞察に基づいた回答がなされた。新規性の高いこの研究論文は今後の治療法開発の基礎となり得る価値の高いものであり、学位授与に値する業績と判断した。